

# 伊勢市

## 災害時のペット対策



### 目次

ペットといっしょに避難する場合 .....	P-2
避難ペットの飼育ルール .....	P-3
災害時のペット救援体制 .....	P-5
資料（避難動物登録書） .....	P-6

## はじめに…

大規模な災害時には飼い主さんがペットといっしょに避難することが想定されます。

いまやペットは家族の大切な一員であると言われてはいますが、避難所の限られた空間では、動物のアレルギーがある方や、動物が苦手な方なども避難され、自宅にいるのと同じ飼い方はできません。

そこで、伊勢市では、災害時のペット対策のガイドラインを作成し、ペットに関する避難・救援や、防災に役立てていただくことをまとめました。

人も動物も、安全に避難し、災害を乗り越え、安心な暮らしを取りもどすため、参考にしてください。

**伊勢市の人口・世帯数** 131,670 人・54,120 世帯 (平成 25 年 12 月末現在)

**伊勢市の犬登録数** 8,885 頭 (平成 25 年 12 月末現在)



# 大規模災害発生!!



## ペットといっしょに避難する場合

### ◆緊急避難（まずは安全な場所に）

まずは、津波緊急避難所、指定避難所、津波浸水区域外などの安全な場所に避難しましょう。（伊勢市防災マップで確認）

日頃からどこに避難するか、どの道を通るのか、ペットをどのように連れていくか、考えておきましょう。



## 避難生活はペットといっしょに小中学校へ! (災害発生から1～2日後)

### ◆避難生活

災害発生後1～2日が経過し、避難生活が始まったらペットといっしょに小中学校へ移動します。



### ◆屋外待機（避難者の集まる屋内へはペット入室禁止）

動物アレルギーをもつ方や動物が苦手な方、心身を休めたい方に配慮しましょう。

※気象状況によって屋外待機が危険な場合は、避難所運営者と相談のうえ、建物内の一角などを臨時的にペット待機場所に。



### ◆ペット一時飼育場所の決定（飼い主会を結成）

各避難所で飼い主会を結成し、代表者を決めてください。

代表者は避難所運営者と相談し、鳴き声やにおい等が他の避難者の迷惑にならない校庭の隅などにペット一時飼育場所を定めます。



### ◆ペットの管理（避難動物登録書の作成）

「避難ペットの飼育ルール」に同意した飼い主は、避難動物登録書（資料）に記入のうえ、定められた場所でペットを管理してください。

なお、避難動物登録書は、飼い主会で管理してください。

また、問題が発生した場合は、飼い主会代表を通じ動物救援本部・動物救護所へ相談してください。

# 避難ペットの飼育ルール

避難所では、多くの方が共同生活を送ります。ペットの飼い主さんは、次のことを守ってください。

1. 飼い主氏名・連絡先・ペット名をペットに装着（飼育場所にも表示）して、確実につなぐか、ケージ（おり）の中で飼ってください。
2. 飼育場所周辺は飼い主の手によって常に清潔にしてください。
3. 苦情や、危害の防止に努めてください。
4. 排泄は指定された場所でさせ、後始末を必ずしてください。
5. ノミやダニの駆除に努めてください。
6. 運動やブラッシングは必ず屋外で行ってください。
7. 世話が困難な場合や困り事は、飼い主会の代表に相談してください。
8. トラブルが生じた場合はすみやかに、避難所運営者まで届け出てください。



## ◆心がけておくこと

### [飼育場所の安全] ガラスの飛散やブロック塀の倒壊に注意

室内飼育の場合は、ガラスが割れたときの対策を考えておきましょう。  
厚手のソファカバーなどを常に使っていると、さっと床に広げてペットの足を守ることが出来ます。屋外飼育のペットは、地震による落下物やブロック塀の倒壊を考慮して飼育場所を考えましょう。



### [しつけ] ペットをストレスから守る

犬にふだんから「待て」「静かに」などを教えて、興奮しないようにしておきましょう。  
屋外で排泄をする習慣のペットはケージに入れられると排泄を我慢してしまうことがあります。ペットシートなどの上で排泄をすることを覚えさせておきましょう。

### [登録] 犬は市に飼育登録を

災害時にスムーズな保護を受けるためにも、必ず登録を済ませておきましょう。

### [狂犬病予防接種・ワクチン] 感染症の予防

多数のペットが一箇所に保護される場合、うつる病気をもっていると感染が広がってしまいます。適切に予防接種をしておくとともに、ノミやダニの対策もしておきましょう。

### [緊急避難] 緊急避難場所の確認

動物避難場所や保管方法についてあらかじめ確認しておきましょう。  
家族の連絡方法や役割についても話し合っておきましょう。

## [ 預け先 ] ペットの預け先を見つけておく

万が一の災害に備えて、ペットを預かってくれるところをさがしておくで安心です。親類知人などと相談し、前もって“お互いさま”の連携をしておくといいでしょう。

## [ 飼い主グループ ] 近隣の飼い主同士で助け合う

町内会や自治会などの地域組織を通じて、飼い主グループを作っておきましょう。

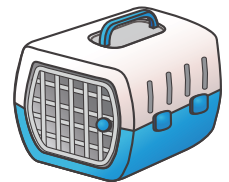
# ◆災害を考えペットのために用意しておく物

## [ フード・飲み水 ] フードと飲み水を最低 1 週間分

食べなれている保存のきくフードと水、予備の食器を非常用に準備しておきましょう。

## [ 避難用具 ] ケージ、クレート、キャリングケース

ふだんからケージやクレートに入ることに慣れさせておきましょう。気性の荒い犬には口輪を用意しておくで安心です。



## [ 鑑札・迷子札 ] 飼い主の氏名・連絡先、ペットの名前

首輪に迷子札をつけておきましょう（犬は鑑札・狂犬病予防注射済票も）。マイクロチップを体に埋め込む方法もあります。

## [ 薬 ] 常備薬、応急処置

慢性の病気などで薬が必要なペットは、予備の薬について獣医さんに相談しておきましょう。

また、ペットの怪我に備えて、応急処置の仕方を獣医さんに教わっておくと役に立ちます。

## [ 飼育メモ ] ペットの履歴書

生年月日、ワクチン接種歴、病歴、去勢避妊手術の有無、かかりつけ動物病院名のほか、餌の好み、日々の運動量の目安などを記入しておきましょう。

ペットが行方不明になってしまったときのために、写真を用意しておくで捜索に役立ちます。

## [ その他 ] あると便利な物

予備の首輪やリード（引き綱）、猫を入れる洗濯用ネット、ペットシーツや古新聞、タオルなど。

特にタオルはペットの体を拭いたり、寝床の敷き物、防寒、怪我をしたときの止血などに役立ちます。

飼い主のにおいのついていない古着があると、避難先でもペットは安心することができます。

# 災害時のペット救援体制

## 伊勢市動物救援本部 (ペット救援物資・応急治療・総合相談窓口・広報)

災害の規模により、また災害の長期化が予想される場合は、伊勢市動物救援本部を設置し、動物救援活動の円滑化を進めます。

## 動物救護所

動物救護所は、伊勢市動物救援本部からの要請を受けて伊勢市が候補地を決定し、獣医師及び市民ボランティアで運営します。

災害の復旧状況により、近隣自治体の動物救護所と統廃合する場合があります。







## 伊勢市の災害時のペット対策

発行日 平成 26 年 1 月  
編集・発行 伊勢市危機管理課・環境課  
三重県獣医師会伊勢志摩支部  
伊勢保健所